

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 12 月 19 日作成)

|                              |   |   |                                |
|------------------------------|---|---|--------------------------------|
| 小委員会名                        | 電磁環境教育小委員会  |   | 主 査 名：吉野 涼二<br>就任年月：2018 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学委員会<br>(電磁環境運営委員会)  |   | 委員長名：岩田 利枝<br>主 査 名：川瀬 隆治      |
| 設 置 期 間                      | 2016 年 4 月 ～ 2019 年 3 月   |   |                                |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 建築電磁環境技術の教育普及を目的とした各種活動(講義、教科書作成等)の実施<br>・2016 年度：講義・講演の実施、教科書ダイジェスト版の作成、学生用 3 コマ PPT の作成<br>・2017 年度：講義・講演の実施、教科書の作成、分野別講義資料の作成<br>・2018 年度：講義・講演の実施、教科書の作成、分野別講義資料の作成 |   |                                |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：無   |   |                                |
|                              | 主査：吉野涼二 (環境調査事務所)、幹事：廣里成隆 (竹 中工務店)、委員：志田浩義 (トーキン EMC エンジニアリング)、安藤一宏 (鹿島環境サービス)、加藤崇 (大成建設)、三枝健二 (日本大学)、新納敏文 (オータマ)、安岡正人 (東京大学名誉教授)                                       |   |                                |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |   |   |                                |
| 2018 年度予算                    | 5,000 円   | ホームページ公開の有無：有<br>委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s33/">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s33/</a> |                                |

| 項 目   | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数  | 4 回 (年度内計画を含む)  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)                     |   |
| 講習会   |   |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会<br>承認企画 |   |
| 大会研究集会  |   |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等                        |   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係)            | 1. 講義、講演の実施：日大、岐阜大、岡山大院、東理大にて実施<br>2. 教科書の作成：教科書の出版方針について検討中、教科書本文作成<br>3. 分野別講義用 PPT の作成：適宜更新中 |
| 委員会活動の問題点<br>・課題                              | 次年度の電磁環境教育普及小委員会活動への継続課題<br>1. 教科書作成、出版や情報公開の方針について検討<br>2. 分野別講義・講演用 PPT の作成、更新                |

## 2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 最終年度評価)

| 総合評価<br>(4 段階評価)                         | A   | B | C | D |
|--|---|---|---|---|
| <p>総合評価に関する<br/>自由記述欄<br/>(理由、特記事項等)</p> | <p>当委員会の主たる目標である「建築 EMC 技術に関する講義・講演の実施」、「建築 EMC 技術に関する教科書の作成(執筆活動の推進)」、「分野別講義資料の作成」に関してそれぞれの成果を得ることが出来た。</p> <p>本委員会における最終年度成果を踏まえて、次年度新規設置予定の小委員会における「建築電磁環境工学教科書(案)の情報公開や出版」, および「多岐に渡る建築 EMC 技術に関する講義・講演」等に関する諸活動を積極的に推進したい。</p> |   |   |   |

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。